



安心の創造、誠実な経営。



平成 26 年 1 月 10 日

各 位

いちごグループホールディングス株式会社

代 表 者 代表執行役会長 スコット キャロン
(コード番号 2337 東証 J A S D A Q)

問合せ先 執行役副社長 石原 実
(電話番号 03-3502-4818)

www.ichigo-holdings.co.jp

中期経営計画「Shift Up 2016」策定に関するお知らせ

当社は、2016 年 2 月期までの中期経営計画「Shift Up 2016」を策定し、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 「Shift Up 2016」策定の背景

当社は、2014 年 2 月期より、「Shift Up」戦略を掲げ、革命的な成長に向けた投資を加速しております。また、その利益成長の早期実現を目指し、2013 年 11 月にはいちごグループとして初となる公募増資を実施し、165 億円の資金調達を実施いたしました。

今般、上述調達資金等による今後の実現可能利益成長を精査し、中期経営計画「Shift Up 2016」を策定することといたしました。当社では、株主価値の根幹である 1 株利益（EPS）の大幅な向上により、株主価値の最大化を目指し、「Shift Up 2016」の完全実現に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。

2. 重点施策

(1) 成長投資の加速

- ・ 2020 年東京オリンピック開催に向けたバリューアップ案件の不動産投資拡大
- ・ 自己保有を前提とした長期保有型案件への積極投資による安定収益拡大
- ・ 安定的な運用報酬拡大を目的としたいちご不動産投資法人（いちごリート）への成長支援
- ・ メガソーラー（太陽光発電）事業の新規案件取得および既存案件の早期事業化

(2) 資産売却による成長投資資金の確保

- ・ 収益確保のタイミングを勘案しつつ、資産売却による成長投資資金の確保を目指し、資本効率のさらなる向上を図り、ROI（投資利益率）15%以上の再投資を推進

(3) 「戦略的財務」の推進

- ・ 財務安定性強化と収益力向上の両立
- ・ 格付取得、借入コスト低減、借入の無担保化および長期化、社債発行等の幅広い財務施策の推進

3. 「Shift Up 2016」の経営指標（KPI）

	2013年2月期 (実績)	2014年2月期 (予想)	2015年2月期 (計画)	2016年2月期 (計画)
売上総利益（百万円）	4,974	7,400	11,500	15,500
営業利益（百万円）	1,844	3,900	7,700	11,400
当期純利益（百万円）	1,637	4,000	6,040	9,050
1株あたり純利益（EPS）	3.66 円	8.69 円	12.17 円	18.25 円
1株利益（EPS）成長率 ^{※1}	△5%	+137%	+40%（+51%）	+50%
安定収益固定費カバー率 ^{※2}	129%	139%	150%	165%

※1 期中平均株式数を用いた EPS 成長率の計算。() 内の数値は、公募増資後（2014 年 1 月 10 日現在）の発行済株式数を用いた EPS 成長率の試算値

※2 資産譲渡益や成功報酬等の一過性の収益を除いた安定的な収益を、固定販管費に支払利息を加算した固定費で除した割合

4. 東証一部への市場変更

2016 年 2 月期末までに東京証券取引所市場第一部指定承認を実現することを目指す。

以 上

（注）本資料に掲載されている将来に関する記述は、当社および当社グループが発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。よって、実際の業績は様々な要因につき、記述されている計画とは大きく異なる結果となりえることをご承知ください。